

# 令和2年度 再エネ早期導入と適切な環境配慮の両立推進セミナー 開催のご案内

脱炭素社会の実現に向けて、地球温暖化対策計画及びエネルギー基本計画の見直しに向けた議論が行われているところであり、再生可能エネルギーについては、地域社会や自然環境と共生して導入を進め、その主力電源化を目指すため、風力や太陽光等発電設備に対する環境影響評価の迅速化が必要とされています。環境省では、環境影響評価の迅速化に向けた取り組みとして、環境アセスメントデータベースの公開等の環境情報整備を行うことにより、再生可能エネルギーの早期導入と適切な環境への配慮の両立を目指しています。

そこで、再生可能エネルギーの早期導入と適切な環境への配慮の両立を更に推進するための情報を提供するセミナーを開催します。

## 記

- 主 催：環境省関東地方環境事務所
- 名 称：再エネ早期導入と適切な環境配慮の両立推進セミナー
- 日 時：令和3年2月22日(月) 13:00～16:00 (受付開始 12:30)
- 場 所：(一社)日本環境アセスメント協会の会議室における講演等を Zoom (Webinar)にてオンライン・ライブ中継
- 参加費：無料
- 定 員：200名程度を予定  
※新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン・ライブ中継による開催とします。
- プログラム

時間	タイトル	講演者
13:00～	開会挨拶	鈴木 一成 (環境省関東地方環境事務所 環境対策課長)
13:10～13:50	再生可能エネルギー導入に伴う環境アセスメント制度の課題	田中 充 (法政大学 教授)
13:50～14:20	気候変動対策における再生可能エネルギー導入について	川原 博満 (環境省関東地方環境事務所 環境対策課 地域適応推進専門官)
14:20～14:30	質疑応答	
14:30～14:40	休憩 ※講演の進捗により適宜調整します。	
14:40～15:10	風力発電等に係るゾーニング事業について	未定 (環境省大臣官房環境影響評価課・株式会社日本工営)
15:10～15:50	風力発電事業推進のための環境影響評価の迅速化	竹内 彩乃 (東邦大学 講師)
15:50～16:00	質疑応答	
16:00	閉 会	